

事務所閉館のお知らせ

5月2日(月)午後から書記局
会議のため、事務所を閉館とさ
せていただきます。予め、ご了承
ください。

江東支部



墨田、江東、江戸川合同編集

東京土建一般労働組合
江東ブロック会議
江東区北砂1-11-4
TEL [3640] 2411
発行者 実川英治
定価 30円
新聞代は組合費に含まれています

東京土建江東支部第67回定期大会開催！
新役員とともに2022年度も前進しよう！

建設従事者の仕事とくらしを守るため
大衆運動のさらなる前進！

第67回江東支部定期大会を4月10日(日)に江東支部会館で開催しました。支部役員・代議員・特別代議員・来賓を合わせて101名の参加となりました。当初は、支部会館で3年ぶりの分科会開催を含めた一日開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の増加傾向と高止まりを考慮し、急遽平日開催となりました。大会当日の質疑討論については、基調報告と支部財政報告のみとなり、分科会での各専門部の質疑については書面で受け付けを行い、後日の回答としました。

大会冒頭では、委員長 書記長の基調報告では、大感染対策を行った上、制度学習会の開催など、から昨年もコロナ禍で様 初めに昨年の運動の総括 での小規模な開催となり コロナ禍の中でできる運 々な制約がある中でも旺 がありました。昨年度は ましたが、開催した分会 動を模索し、行ってきま 盛な組合活動に尽力して「誰ひとり取り残さない」 では、「やって良かった」 した。ご協力いただいた の声があり、来場者か 組合員の皆様とごご家 族に改めて感謝を申し上 ました。また仲間の健康 げます。



富樫委員長による挨拶

富樫委員長による挨拶
で様々な運動 ました。2年 ぶりの開催と なった住宅テ ーでは、新型 コロナウイルス



全員で団結ガンバロー！



中尾正文さん(深川第七分会)から質問

中尾 正文さん(深川第七分会)から質問
ト、紙芝居形式での訪問行動など、

質疑・討論

基調報告に対する質疑
・討論では、中尾 正文 何を教訓にしていけるのか
(深川第七分会)さんから 提議してほしい」とい
発言がありました。20 秋の拡大行動月間9月は
22年度は日本がコロナ 緊急事態宣言下での行動
禍となつて3年目。様々 となった。訪問される仲
な制約の中で組合活動を 間に配慮し、電話かけ行
行ってきたが、今年度組 動を提起した。しかし、
合活動をするにあたって いくつかの分
会では会話を 控えた。指差
しアンケー ト、紙芝居
形式での訪 問行動など、

分会が自発的に創意工夫
し拡大行動に取り組んで
いた。江東支部はコロナ
禍であっても工夫し訪問
行動を行なえる。それは
コロナ禍となった2年間
で学んだ教訓の一つ。
二つ目の教訓として
は、昨年度の拡大行動で
は仲間の「こんな制度が
あるなんて知らなかつた」
をなくそうと情報発
信に注力してきた。しか
し、拡大アンケートの結
果を見ると、知らなかつ
た」という割合は依然高
い。まだまだ仲間へ有益
な情報が行き届いていな
いという事実も教訓の一

つ。これらの教訓を20
22年度に活かす運動を
進める必要がある。」と
答弁がありました。
決算・予算提案に対す
る質疑では、松丸 一雄
さん(砂町中央分会)か
ら「前年実績(決算書の
執行率)に基づいた予算
組みが正しいのではない
か。また、この間、コロ
ナ禍で分会の運動や連絡
が取りづらくなる状況
を考慮し、新型コロナウ
イルスによる対策費も必
要ではないか。」という

退任役員
皆さん
お疲れさま
でした

- (敬称略)
天沼 昭博 常任執行委員 (小名木)
佐々木 秀樹 常任執行委員 (小名木)
吉田 美穂子 執行委員 (亀戸)
松島 敏夫 執行委員 (深七)
鶴澤 豊 執行委員 (事業所)
井坂 厚視 執行委員 (事業所)

- (敬称略) は新任
油屋 正孝 砂中
高木 仁実 東砂
鈴木 隆二 南砂
加納 美穂子 事業所
菅野 元淑 亀戸 (執行委員)
野田 智文 砂中
上條 哲明 亀戸
花岡 康雄 深7
佐竹 子太郎 亀戸
高梨 雄一 大島
石井 広志 大島
木塚 優樹 大島
小栗 宏司 小名木 (会計監査)
村瀬 健一郎 書記局
兼久 俊三 砂中
高橋 直樹 砂中
佐原 晶子 4砂
塚越 悟 東砂
青木 真由美 東砂
伊藤 忠 書記局
山田 幸延 亀戸
長谷川 昭二 亀戸
中田 大介 大島

新役員体制

